

## 6

# 電子部品工場の空調熱源機更新に 高効率電気式空調の導入

この工場では、従来、A重油を燃料とする直焚吸収式冷温水機を熱源として、建屋やクリーンルームの空調を実施していましたが、CO<sub>2</sub>排出量の削減、エネルギー費用の低減を図るため、高効率空冷ヒートポンプチャラー等に更新しました。

これにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減、コストの低減が実現でき、また、重油に関する運用管理、メンテナンスの軽減にもつながりました。

## 改善効果 (設計上試算)

- 年間一次エネルギー使用量: 50%低減
- 年間エネルギー費用: 42%低減
- 年間CO<sub>2</sub>排出量: 72%低減\*

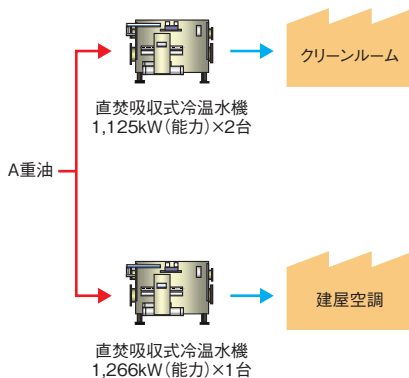
## 設備概要 (更新後)

- 高効率空冷ヒートポンプチャラー 950kW (能力) × 2台
- 個別分散型空調機 合計1,204kW (能力)

※ 電気のCO<sub>2</sub>排出係数: 0.373kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(一般電気事業者使用端原単位(調整後)2008年度実績)  
A重油のCO<sub>2</sub>排出係数: 2.71kg-CO<sub>2</sub>/ℓ

## システム図

### 改善前



### 改善後

